

必須項目

基礎情報	登録情報記載月	2020年2月
	登録番号	地域 005
	地域	東海 浜松市
	名称	浜松臨床倫理コンサルテーショングループ
	活動の概要	<p>聖隷三方原病院：1981年に採択された「患者の権利」に関する世界医師会の「リスボン宣言」を参考に1992年に「患者の権利」に関する宣言を定め、患者の権利の尊重を病院の基本方針とした。</p> <p>当時批判もあったが、病院の強い決意のもとに今日の医療を先取りした取り組みとして評価される。合わせてインフォームドコンセント院内に徹底する取り組み、よろず相談室の開設とセカンドオピニオン外来なども開始されている。当時藤島が勤務しており新たな取り組みの息吹を感じた。聖隷浜松病院では1900年には病院外からの医者を招聘して「脳死を持って人の死とする」などの統一見解を発表するなど民間の取り組みとしては先駆的であった。1997年には医療倫理問題検討小委員会が発足、2003年には独立の委員会となっている。</p> <p>臨床倫理的取り組みが盛んに行われ、日本臨床倫理学会の副理事長である清水貴子先生やMSWの内田美加さんなどが中心となり倫理コンサルテーションなども行われ今日に至っている。現在内田さんが浜松市リハビリテーション病院勤務している。</p> <p>浜松市としては2010年頃からは浜松医師会が中心となり箕岡真子先生をお招きして臨床倫理の講演会がたびたび開催されている。このように臨床倫理には関心が強い地域である。箕岡真子先生は数年来浜松医科大学での臨床倫理の講義もされているとお聞きしている。</p> <p>2017年から浜松市リハビリテーション病院において年2回は稲葉一人先生をお招きして臨床倫理セミナーを開催している。このセミナーは地域にも開放しており、毎回地域の事例を取り上げ検討会を行うようにしている。毎回100名以上が参加し現場からも好評である。</p>
活動の特徴	<p>リハビリテーションをベースにした「障がいを持って生活する」医療・介護を支援する活動が特徴である。現時点では浜松市リハビリテーション病院が地域開放型の倫理セミナーと事例検討会を行っている。</p> <p>今後、この活動を広く浜松地区に広めていきたいと考えているが、リハビリテーションのキーは連携にある。急性期、回復期、生活期、終末期の全てにリハビリテーションは関与するが、リハビリテーション自体がまだ広く認識されているとは言えない。今後、リハビリテーションをキーとした臨床倫理活動を展開する必要があると考えている。</p>	
活動の広がり	<p>浜松市リハビリテーション病院内では臨床倫理の必要性やカンファで得られる情報の有用性が徐々に職員に周知され、カンファを開く必要がありますという発言が増えている。院内の活動を地域につなぐ中で倫理的気づきの欠如、エイジズム、ディメンチズム、パターンリズムに陥らない医療を広めていく使命があると自覚してアドバイザーが活躍できる場を広めていきたいと考えている。</p>	

	協力や支援の可否	地域や他院からの協力要請や支援に関しては可能であり、倫理コンサルテーションチームの立ち上げ支援、個別事例のカンファ相談について、契約（守秘義務、忠実義務）を交わして実施することも検討したい。			
	連絡担当者名	藤島一郎			
	連絡先（E-mail）	ifujishima@sis.seirei.or.jp			
備考欄					
任意記載項目					
地域概要	認定機関名	浜松市リハビリテーション病院			
	会員数	まだ組織されていない		人	
	賛助会員数	いない		人	
	非会員数	いない		人	
世話人	浜松市リハビリ病院 藤島一郎 (Dr),内田美加 (MSW), 田中直美(Ns), 岡本圭史(ST)	臨床倫理認定士修了者		2人	
		上級臨床倫理認定士修了者		人	
		CBEL修了者	1	人	
		その他：		人	
	浜松医師会 山下いずみ(Ns)	臨床倫理認定士修了者		人	
		上級臨床倫理認定士修了者		人	
		CBEL修了者		人	
		その他：	1	人	
	聖隷浜松病院 和久田晴久(MSW)	臨床倫理認定士修了者		人	
		上級臨床倫理認定士修了者		人	
		CBEL修了者		人	
		その他：		人	
	聖隷三方原病院 佐久間 由美(Ns)	臨床倫理認定士修了者		人	
		上級臨床倫理認定士修了者		人	
		CBEL修了者		人	
		その他：		人	
(職種名を記載)	臨床倫理認定士修了者		人		
	上級臨床倫理認定士修了者		人		
	CBEL修了者		人		
	その他：		人		
外部コンサルタント 稲葉一人	チームメンバーにはいない				
	臨床倫理認定士修了者		人		
	上級臨床倫理認定士修了者		人		
	CBEL修了者		人		
チーム実績	コンサルテーション窓口				
	依頼件数	2019年度（2019年1月～2019年12月現在）		6件	
	事例検討会件数	2019年度（2019年1月～2019年12月現在）		2件	
	事例検討会総参加者数	2019年度（2019年1月～2019年12月現在）		200人	
	区分	小児			件
		成人（高齢者含む）			5件
がん（AIDS /HIV含む）			1件		
非がん			件		

	依頼内容 (重複なし)	告知・インフォームドコンセント	2	件
		症状コントロール		件
		栄養・水分制限		件
		医療資源の分配	1	件
		療養場所の選択	2	件
		暴言・暴力への対応		件
		個人情報の取り扱い		件
		地域支援者への心理的支援	1	件
講演・研修会	医療者・介護職対象	2019年度	3	回
	行政対象	2019年度		回
	一般市民対象	2019年度	2	回
	その他：	2019年度		回
社会活動	講師等の派遣	外部コンサルタント（年間契約）	0	施設
備考	外部見学受け入れ		0	回